

(社)日本冷蔵倉庫協会

全国工場数：約 1 6 0 0 会員工場数：約 1 4 0 0 (8 7 %)

[業務内容]

1 . 活動指針の推進 (環境問題に積極的に取り組む) 2 . 助成要望 3 . 業界情報提供、他

1 . 業務用冷凍空調機器の整備・廃棄時におけるフロン回収に係る実態

2 . 業務用冷凍空調機器の整備・廃棄時におけるフロン類の排出抑制に係る取組と課題

・ 通常

1) 冷媒漏洩防止・・・検知器による漏洩チェック

・ 冷凍機更新時

1) 同じ冷媒を使用する場合 工事業者が回収し、工事完了後に再充填 (再使用)

2) 別の冷媒を使用する場合 工事業者が回収し、他の冷凍設備へ転用 業者に処理依頼

事業所の閉鎖

1) 複数の事業所を保有している企業の場合 工事業者が回収した後、再生し他の事業所にて再使用

2) 複数の事業所を保有していない企業の場合 工事業者が回収と処理

3 . 現行フロン回収破壊法に係る問題点 (一般的問題として)

1) 処理費用が高く事業者の負担が大きい 例：補助金

2) フロン回収・破壊法の認知度が低い、排出事業者のモラルの問題

例：広報活動の強化、特別管理廃棄物としての位置づけ、マニフェスト伝票の義務化

4 . 今後のフロン類排出抑制に係る取組

1) H C F C の国内消費規制がさらに強化される 2 0 1 0 年移行、H F C もしくは自然冷媒を使用した冷凍設備への更新が進むので、H C F C の回収破壊法の周知徹底に取り組む。